

## 思いも寄らない問題にぶつかっても、エホバが支えてくださる

「正しい人は多くの苦難に遭う。しかし、エホバがその全てから助け出してくださる」。[詩編 34:19](#)

### 44 番の歌 謙遜な人の祈り

何を学ぶか\*私たちは今の世の中で思いも寄らない問題にぶつかることがあります。でも、エホバが支えてくださると確信しています。エホバはご自分に仕える人たちをこれまでどのように支えてきたでしょうか。今、私たちをどのように支えてくださっていますか。聖書中の例や現代の例について考えると、エホバに頼るなら必ず支えてくださるという確信を強めることができます。

1. 私たちはどんなことを知っていますか。

私たちは、エホバが私たちを愛していて、幸せな生活を送ってほしいと思ってくれていることを知っています。（[ロマ 8:35-39](#) 誰がキリストの愛から私たちを引き離せるでしょうか。災難、苦難、迫害、飢え、裸、危険、剣であれば引き離せるでしょうか。36 確かに、「私たちはあなたのために一日中死にさらされている。ほふられる(\*殺される)羊のように見なされた」と書かれています。37 しかし、私たちは、愛してくださった方により、これらのことがある中で完全な勝利を収めています。38 私は確信しています。死も、生も、天使も、政府も、今あるものも、これから来るものも、力も、39 高さも、深さも、ほかのどんな創造物も、主であるキリスト・イエスを通して示される神の愛から私たちを引き離すことはできません）聖書の原則を自分に当てはめるなら必ず良い結果になる、ということもよく知っています。（[イザ 48:17, 18](#) あなたを救う(d\*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば！そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる）では、思いも寄らない問題にぶつかる時にはどう反応するでしょうか。

2. 私たちはどんな問題にぶつかることがありますか。そういう時、どんな気持ちになるかもしれませんか。

2 エホバに仕える人たちは、みんないろいろな問題を経験します。例えば、家族の中でがっかりさせられるようなことが生じるかもしれません。重い病気になって、エホバのためにできることが少なくなることもあります。自然災害に遭ったり、迫害や反対を経験することもあります。こうしたことを経験すると、次のように感じるかもしれません。「どうして自分がこんな目に遭うんだろう。何か悪いことをしてしまったんだろうか。エホバに喜ばれていないということだろうか」。あなたもこのように感じることがありますか。もあるとしても、心配しないでください。エホバに仕えるたくさんの人たちも、同じような気持ちと闘ってきました。（[詩 22:1, 2](#) 私の神、私の神、なぜ私を見捨てたのですか。なぜ救ってくださらないのですか。なぜ苦悩の叫びを聞いてくださらないのですか。2 私の神、昼に呼び続けても、あなたは答えません。夜も私は沈黙しません。[ハバ 1:2, 3](#) エホバ、私はいつまで助けを求めて呼ばなければならぬのですか。あなたは聞いてくださらないのですか。私はいつまで暴

力からの救出を願わなければならないのですか。あなたは介入して(\*救って)くださらないのですか。3 私に悪事を見させるはどうしてですか。圧制を見過ごしておられるはどうしてですか。私の前に破壊や暴力があるのはなぜですか。口論や争いがあまりにも多いのはなぜですか)

### 3. 詩編 34 編 19 節からどんなことが分かりますか。

3 詩編 34:19 正しい人は多くの苦難(\*災難)に遭う。しかし、エホバがその全てから助け出してくださるを読む。この聖句から 2 つの重要な点が分かります。 (1) 正しい人は問題にぶつかります。 (2) エホバは私たちを助け出してくださいます。どのようにでしょうか。エホバは、私たちが今世の中で現実的な見方を持って生活できるように助けてくださいます。エホバは、ご自分に仕える人は喜びを味わえると約束していますが、何の問題も経験しないで済むと言っているわけではありません。 (イザ 66:14 これを見て、あなたたちは心から喜び、骨が若草のように活力に満ちる。エホバの力は仕える者たちに知られ、神は敵たちを糾弾する) エホバは将来に目を向けるようにと勧めています。私たちに永遠にわたって素晴らしい生活を送ってほしいと思っているのです。 (コリ二 4:16-18 ですから、私たちは諦めません。たとえ私たちの外面(\*外面の人)は衰えていくとしても、内面(\*内面の人)は日々新しくされています。 17 苦難(\*試練)はつかの間で軽いですが、はるかに重みのある(\*重みを増していく)永遠の栄光を私たちにもたらします。 18 私たちは、見えるものではなく見えないものに目を留めます。見えるものは一時的ですが、見えないものは永遠だからです。) そして、その時まで私たちが一日一日頑張ることができるよう、力を与えてくださいます。 (哀 3:22-24 エホバの揺るぎない愛のおかげで、私たちは滅びませんでした。神の憐れみは決して絶えません。 23 それは朝ごとに新たに示されます。あなたは常に信頼できる方です。 24 私は言いました。「エホバが私の全て(d\*私の分)です。ですから、私はその方を辛抱強く待ちます」と。)

### 4. この記事ではどんなことを考えますか。

4 聖書時代や現代のエホバに仕える人たちの例からどんな教訓を学べるかを考えましょう。私たちは思いも寄らない問題にぶつかることがあります、エホバに頼るなら必ず支えていただけます。 (詩 55:22 重荷をエホバに委ねよ。そうすれば支えてくださる。神は正しい人が倒れる(\*よろける)ことを決して許さない。) これからいろいろな例を考えながら、次の点を自問してみましょう。「①もし自分が同じ状況にいたらどのように反応するだろうか。②この例を考えると、エホバへの信頼はどういうに強まるだろうか。③ここから学べる教訓をどのように生活に当てはめられるだろうか」

## 聖書時代



ヤコブは 20 年にわたって、伯父のラバノンに不当に扱われた。でもエホバは、一生懸命に働いたヤコブにたくさんの祝福を与えた(5 節を参照。)

5. ヤコブはラバーンのせいでどんな大変な経験をしましたか。（表紙の絵を参照。）

5 聖書時代のエホバに仕えた人たちは、思いも寄らない問題にぶつかることがありました。ヤコブの例を考えてみましょう。ヤコブは父親から、エホバに仕える親族であるラバーンの娘と結婚するようにと言われました。そして、エホバが豊かに祝福してくださるとも言われました。（創28:1-4）それでイサクはヤコブを呼び、ヤコブのために祝福を願い、こう命じた。「カナン地方の娘たちの中から妻を選んではいけない。2パダン・アラムへ、あなたのおじいさん(d\*母の父)ベトエルの家族の所へ行き、そこで妻を選びなさい。あなたの伯父さんラバーンの娘たちの中から選ぶのだ。3全能の神があなたを祝福し、多くの子孫を与えてくださる。あなたから必ず、幾つもの民(\*部族)が生まれる。4神は、アブラハムに約束した祝福をあなたとあなたの子孫に与えてくださる。あなたがこれまで外国人として住んできた土地、神がアブラハムに授けた土地はあなたのものになる」）それでヤコブは正しいことを行い、カナンからラバーンの家まで旅をしました。ラバーンには、レアとラケルという2人の娘がいました。ヤコブは妹のラケルのことが好きになり、ラケルと結婚するために7年間働くことを約束しました。（創29:18）ヤコブはラケルを愛するようになっていたので、こう答えた。「あなたの下の娘ラケルのため、私は喜んであなたに7年仕えます」）でも、ヤコブの願った通りにはいきませんでした。ラバーンはヤコブをだまし、姉のレアと結婚させました。1週間後にラケルとも結婚することを許しましたが、そのためにもう7年間働くことを条件にしました。（創29:25-27）翌朝、ヤコブが見ると、そこにいたのはレアだった。それでヤコブはラバーンに言った。「何ということをしたのですか。私はラケルのために、あなたに仕えたのではなかったでしょうか。どうして私をだましたのですか」。26ラバーンは言った。「こここの習慣では、下の娘を長女より先に嫁にやることはしません。27祝いの週をあの子と一緒に過ごしなさい。その後、下の子も妻にすることができます。ただし、その代わりもう7年働いてもらいます」）さらに、ラバーンは仕事の報酬の面でもヤコブを不當に扱いました。結果、合計20年にわたって、ラバーンはヤコブを利用したのです。（創31:41, 42）私はあなたの所で20年間過ごしてきました。あなたの2人の娘のために14年、あなたの家畜のために6年働いたのです。しかも、あなたは報酬を10回も変えました。42もし私の父祖の神、アブラハムの神でイサクが畏れる方が、私の側にいてくださいなかつたなら、あなたは私に何も持たせずに去らせたでしょう。神は、私の苦惱と苦労を見て、昨夜あなたを戒められました）

6. ヤコブはほかにもどんなつらい経験をしましたか。

6 ヤコブはほかにも大変な経験をいろいろとしました。ヤコブにはたくさんの息子がいましたが、兄弟の仲がいつも良かったわけではありませんでした。兄たちは弟のヨセフを奴隸として売ることさえしました。シメオンとレビは、家族の評判やエホバの名前を傷つけるようなことを行いました。さらに、愛する妻ラケルは2人目の子供を産んだ時に亡くなってしまいました。年を取ってからも、ひどい飢饉が生じたためにエジプトに引っ越しなければならなくなりました。（創34:30）その後ヤコブはシメオンとレビに言った。「大変なことをしてくれたものだ。あなたたちのせいで、私は、この地方に住むカナン人やペリジ人から憎まれてしまった。私の方は人数が少ない。彼らはきっと束になって私を攻め、私と家族を滅ぼしてしまうだろう」；35:16-19 それから一行はベテルを出発した。エフラトまでまだ距離がある場所で、ラケルが産気づいて出産し始めたが、ひどい難産だった。17彼女が苦しんでいると、助産婦が彼女に言った。「頑張ってください。今度も男の子です」。18ラケルは息を引き取ろうとする時、その子をベン・オニ(意味/私の嘆きの子)と名付けた。しかし父はその子をベニヤミン(意味/右手の子)と呼んだ。19こうしてラケルは死に、エフラトつまりベツレヘムに向かう道のそばで葬られた。；37:28 イシュマエル人(d\*ミディアン人)の商人たちがそばを通り

掛かると、兄弟たちはヨセフを穴から引き上げ、銀20枚でイシュマエル人に売った。その人たちはヨセフをエジプトに連れていった；[45:9-11](#) 急いで私の父の所に戻り、こう言ってください。『あなたの子ヨセフがこのように言いました。『神は私をエジプト全土の主人としました。私の所に来てください。すぐに来てください。10 そして、ぜひゴシェン地方に住んでください。そうすれば、あなたも、息子や孫も、羊や牛も、あなたの全てのものも、私の近くで暮らせます。11 そこであなたに食糧を供給します。そうしないと、あなたと家族、あなたの全てのものは困窮してしまうでしょう。飢饉はあと5年続くからです』』、[28](#) イスラエルは言った。『そうか。よく分かった。私の子ヨセフは生きているのだ！死ぬ前に、あの子に会いに行こう』）

7. エホバはヤコブをどのように祝福しましたか。

7 ヤコブはこうした大変なことがあっても、エホバとエホバの約束を信じ続けました。エホバはそんなヤコブのことを喜び、たくさんの祝福を与えました。例えば、ヤコブはラバンからひどい扱いを受けましたが、エホバからたくさんの物を与えられて豊かになりました。ずっと前に死んだと思っていたヨセフとも再会することができました。そのことをエホバに心から感謝したに違いありません。ヤコブはエホバとの強い絆があったので、いろいろな問題を乗り越えることができました。（[創30:43](#) ヤコブはとても裕福になり、多くの家畜の群れ、男女の召し使い、ラクダやロバを持つようになった；[32:9, 10](#) それからヤコブはこう祈った。「私の父祖アブラハムの神、父イサクの神、エホバ、あなたは私に、『あなたの土地に、あなたの親族の所に帰りなさい。あなたに良いことがあるようにする』と言っておられます。10 あなたは私のような者に搖るぎない愛を示し、支え続けてくださいました。私がヨルダン川を渡った時にはつえしか持っていましたが、今では宿営が2つになりました；[46:28-30](#) ヤコブはユダを先に遣わして、ゴシエンに向かっていることをヨセフに伝えさせた。一行がゴシェン地方に入ると、29 ヨセフは自分の兵車を用意させ、父イスラエルを迎えるためにゴシェンに行った。再会すると、ヨセフはすぐに父を抱き締めてしばらく泣いた。30 イスラエルはヨセフに言った。「私はもういつ死んでもいい。あなたが生きていて、顔を見ることができたのだから」）私たちも思いも寄らない問題にぶつかるかもしれません、エホバとの絆をしっかりと保つなら乗り越えることができます。

8. ダビデはどんなことを願っていましたか。

8 ダビデは、エホバのためにしたいと思ったことを全てできたわけではありませんでした。例えば、ダビデはエホバの神殿を建てたいと思っていました。そのことについて預言者のナタンに話すと、ナタンはこう言いました。「何でも心にあることを行なさい。眞の神があなたと共にいます」。（[代一 17:1, 2](#) ダビデは自分の家(\*宮殿)に住むとすぐ、預言者ナタンに言った。「私は杉の家に住んでいるのに、エホバの契約の箱は天幕の下にあります」。2 ナタンはダビデに言った。「何でも心にあることを行なさい。眞の神があなたと共にいます」）ダビデはこの言葉に背中を押されたように感じ、ますますやる気になったことでしょう。早速、このプロジェクトの計画を立て始めたかもしれません。

9. ダビデは残念な知らせを聞いてどうしましたか。

9 でも、エホバは「その夜」、神殿を建てるのはダビデではなくダビデの息子であるとナタンに伝えます。（[代一 17:3, 4](#) その夜、神はナタンに言った。4 「私に仕えるダビデにこう言いに行きなさい。『エホバはこう言っている。『私が住む家を建てるのはあなたではない、[11, 12](#) あなたの最期の日が来て、あなたが死

ぬ時、私はあなたの子孫(d\*種)、あなたの子の1人を立て、その人の王権を確立する。12 その人こそが私のために家を建てる。私は彼の王座が永遠に揺るがないようにする) この残念な知らせをナタンから聞いたダビデはどうしたでしょうか。目標を調整しました。ソロモンが神殿を建てるのに必要なお金や資材を一生懸命に集めました。(代一 29:1-5 ダビデ王は会衆全体に言った。「わが子ソロモンは、神に選ばれた人ですが、経験が浅い(\*か弱い)若者です。それに、人のためではなくエホバ神のために神殿(\*城/宮殿)を建てるのですから、これは大事業です。2 私は、神の家のために手を尽くして準備してきました。金、銀、銅、鉄、木材、しまめのう、モルタルではめ込む石、飾り用の色とりどりの小石、各種の宝石、大量の雪花石こうを用意しました。3 また、私は神の家のことを喜んでいるので、聖なる家のために用意した物全てのほかに、私個人の財産である金銀も、神の家のために献じます。4 オフィルの金 100 トンと、精錬された銀 240 トンです。家々の壁を覆うため、5 金や銀の物を作るため、職人がする全ての仕事のためのものです。今日、エホバのために供え物をしたい人はいますか」)

10. エホバはダビデにどんな祝福を与えましたか。

10 エホバは、神殿を建てるのはダビデではないということを伝えた後、すぐにダビデと契約を結びました。それは、ダビデの子孫の1人が王として永遠に治めることになる、という約束でした。(サム二 7:16 あなたの王朝と王国はあなたの前で永遠に安定する。あなたの王座は永遠に揺らぐことがない) 千年統治の間に新しい世界に復活してきたダビデは、王イエスが自分の子孫であることを知ってどれほど喜ぶことでしょう。こうしたことを考えると、たとえ自分の願っている奉仕が全部行えなかつたとしても、エホバは私たちが思ってもみなかつたような祝福を与えてくださる、ということを確信できます。

11. 1世紀のクリスチャンは、思った時に王国が来なかつたとはいえ、どんな素晴らしい経験をしましたか。(使徒 6:7)

11 1世紀のクリスチャンも難しい問題を経験しました。例えば、神の王国が来るなどを心から願っていましたが、いつ実現するのか分かりませんでした。(使徒 1:6, 7 それで、使徒たちは集合した時、イエスに尋ねた。「主よ、今イスラエルに王国を回復するのですか」) 7 イエスは言った。「天の父の権限で定められた時や時期について、あなたたちが知る必要はありません」) そうした中でも、伝道に打ち込みました。良い知らせが広まっていく様子を見て、自分たちの働きをエホバが確かに祝福してくれていることを実感したでしょう。(使徒 6:7 その結果、神の言葉は広まっていき、弟子の数はエルサレムで大幅に増加していった。そして非常に大勢の祭司たちが信じるようになったを読む。)

12. 1世紀のクリスチャンは飢饉が起きた時どうしましたか。

12 ある時には、「全土に」大飢饉が生じました。(使徒 11:28 その1人のアガボという人が立ち上がり、全土に大飢饉が生じようとしていることを聖なる力によって予告した。これはクラウディウスの時に実際に起きた) 1世紀のクリスチャンも影響を受けなかったわけではありません。家族の頭は、家族を養うことができるだろうかと不安になったことでしょう。伝道をもっと行いたいと思っていた若い人たちも、その計画を延期した方がいいだろうか、と考えたかもしれません。1世紀のクリスチャンはいろいろな変化に順応し、できることを行って伝道を続けました。そして、自分の持ち物をユダヤのクリスチャンと喜んで分け合いました。(使徒 11:29, 30 それで弟子たちは、それぞれが提供可能

なものを提供し、ユダヤに住む兄弟たちを救援することに決めた。30 そしてこれを実行し、バルナバとサウロが長老たちに届けた)

13. 飢饉を経験したクリスチャンは、どんな祝福を受けましたか。

13 飢饉を経験した1世紀のクリスチャンに、エホバはどんな祝福を与えたでしょうか。救援物資を受け取った人たちは、エホバが支えてくれていることをじかに感じたでしょう。（マタ 6:31-33）それで、心配して、『何を食べるのか』、『何を飲むのか』、『何を着るのか』などと言ってはなりません。32 これら全ては異国の人々が必死に求めているものです。天の父は、あなたたちがこうしたもの全てを必要としていることを知っています。33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしなさい。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます）助けに来てくれた人たちとの絆も深まつたはずです。そして、寄付やその他の方法で救援活動をサポートした人たちも、与える喜びを味わいました。（使徒 20:35 私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉を覚えておかなければならぬことを、あらゆる点で皆さんに示しました）エホバは状況の変化に順応した全ての人に豊かな報いを与えたのです。

14. バルナバとパウロにどんなことが起きましたか。どんな良い結果になりましたか。（使徒 14:21, 22）

14 1世紀のクリスチャンは迫害されることがよくありました。思いも寄らない時に迫害が生じることもありました。バルナバとパウロがルステラで伝道していた時のことを考えてみましょう。最初、人々は2人を歓迎し、話をよく聞いていました。でも、反対者が「群衆を説き伏せた」ので、喜んで話を聞いていた人たちがパウロに石を投げつけ、殺そうとしました。（使徒 14:19）ところが、ユダヤ人たちがアンティオキアやイコニオムからやって来て群衆を説き伏せた。人々はパウロを石打ちにし、彼が死んだと思って町の外に引きずり出した）それでも、バルナバとパウロはほかの場所で伝道を続けました。その結果、「かなり大勢の人々が弟子とな」りました。当時のクリスチャンも、2人の言葉や行動に力づけられました。（使徒 14:21, 22）2人はその町に良い知らせを広め、かなり大勢の人々が弟子となるよう手助けした後、ルステラ、イコニオム、アンティオキアに戻り、22 弟子たちを力づけ、信仰を保つよう励まして、「私たちは、多くの苦難を経験して神の王国に入らなければなりません」と言ったを読む。）迫害に遭っても2人が伝道をやめなかつたので、とても良い結果につながりました。私たちも、エホバから委ねられている務めを一生懸命行い続けるなら、たくさんの祝福を経験できるでしょう

## 現代

15. A・H・マクミラン兄弟からどんなことを学べますか。

15 1914年の少し前、エホバに仕える人たちは大きな期待を抱いていました。A・H・マクミラン兄弟のことを考えてみましょう。当時の大勢の人たちと同じように、兄弟はすぐにでも天に行けると考えていました。1914年9月には、「恐らく、これが私の最後の講演となるでしょう」と言いました。でも、その言葉の通りにはなりませんでした。兄弟は後にこう書いています。「私たちの中には、少し慌て過ぎてすぐにも天に行くと考える人もいたかもしれないが、私たちのなすべきことは、主の奉仕に忙しく携わっていることである」。確かに、マクミラン兄弟は忙しく働き

ました。伝道を熱心に行いました。軍隊に加わらなかったために投獄された兄弟たちを励ました。そして、高齢になっても集会に出席し続けました。マクミラン兄弟はエホバの約束を待つ間、時間を有効に使ったのです。どんな良い結果になったでしょうか。1966年に亡くなる直前、兄弟は、「現在の私の信仰は、今までと同じく強いものです」と書きました。私たち全てにとって本当に素晴らしい手本ではないでしょうか。長い間忍耐している人たちにとっては、特にそう言えます。（ヘブ 13:7 皆さんを教え導いている（\*皆さんの中で率先している）人たちのことを心に留めてください。皆さんに神の言葉を語った人たちです。その人たちの行いがどのような結果になるかをよく見て、その信仰に倣ってください）

16. ジェニングズ兄弟姉妹はどんな大変な経験をしましたか。（ヤコブ 4:14）

16 大勢のエホバの証人が思いも寄らない健康上の問題と闘っています。ハーバート・ジェニングズ兄弟のことを考えてみましょう。\*「ものの塔」2000年12月1日号24-28ページを参照。ライフ・ストーリーの中で、兄弟はガーナでの宣教者奉仕を夫婦で楽しんでいたと書いています。でもやがて、重度の気分障害と診断されました。その時のことを、兄弟はヤコブ 4章 14節皆さんは自分の命が明日どうなるかも知りません。皆さんは少しの間だけ現れて消える霧だからですの表現を使って、「『あす』のことは予想していなかった」と言っています。（読む。）さらにこう書いています。「現実を直視した私たちは、ガーナと数多くの親しい友を後にして、[治療のために]カナダに帰ることにしました」。エホバは、ジェニングズ兄弟姉妹が大変な中でも忠実に仕え続けられるように助けました。

17. 兄弟姉妹はジェニングズ兄弟の経験からどんな励みを得ていますか。

17 ジェニングズ兄弟の率直なコメントから、多くの人が励みを得ています。ある姉妹はこう言っています。「この記事ほど深い感動を覚えたものはありません。……ジェニングズ兄弟が病気に対処するために割り当てを断念したことを読んで、自分の状況を平衡の取れた仕方で見ることができるようになりました」。ある兄弟はこう言っています。「会衆の長老として10年間働いた後、精神面での病気を抱えたため、その務めを手放さなければなりませんでした。自分はだめな人間だという気持ちがあまりにも強かったので、……ライフ・ストーリーを読むのがつらくてたまりませんでした。しかしジェニングズ兄弟の粘り強さには本当に勇気づけられました」。このように、思いも寄らない問題にぶつかっても頑張っている姿は、仲間に励みを与えます。願った通りにいかないことがあるとしても、信仰や忍耐の面で手本になることができます。（ペテー 5:9 摺るぎない信仰を持ち、悪魔に立ち向かってください。ご存じの通り、世界中にいる、信仰で結ばれた兄弟たちが、同じような苦しみを経験しています）



エホバに頼るなら、思いも寄らない問題にぶつかるとしても、それはエホバとの絆を強めるチャンスになる。（18節を参照。）

18. ナイジェリアのやもめの姉妹からどんなことを学べますか。（写真も参照。）

18 エホバに仕える人たちは、新型コロナウイルスの流行などの非常事態にも直面しています。**ナイジェリアに住むあるやもめの姉妹**は、お金も食べ物もほとんどなくなってしまいました。ある朝、娘から「この最後のお米を食べちゃったら、次のごはんはどうする？」と聞かれました。姉妹は、「確かに食べ物もお金もないけれど、**ザレパテのやもめのお手本に倣いましょう**」と言いました。**最後の食事を準備して、あとはエホバに全部お任せする**ということです。（王一 17:8-16）それでエホバはエリヤに言った。9 「さあ、シドンの町ザレパテに行き、そこに滞在しなさい。私はそこで1人のやもめに命じて、あなたに食べ物を与える」。10 そこでエリヤは出発し、ザレパテに行った。町の入り口に来ると、1人のやもめが薪を拾っていた。エリヤは女性に声を掛け、言った。「どうか水を少し持ってきて、飲ませてください」。11 彼女が水を取りに行こうとした時、エリヤは彼女に呼び掛けた。「どうかパンも少し持ってきてください」。12 彼女は言った。「あなたの生きている神エホバに懸けて言います。私の所にパンはありません。大きなつぼに麦粉一握りと、小さなつぼに油が少しあるだけです。私は薪を幾つか拾い、この後、戻って自分と息子のために何かを作ります。私たちはそれを食べたら、あとは死ぬだけです」。13 エリヤは彼女に言った。「恐れていけません。帰ってあなたが言った通りにしてください。ただし、まず今あるもので私のために小さな丸いパンを作り、持ってきてください。それから、あなたは自分と息子のために何かを作れます。14 イスラエルの神エホバがこう言っているからです。『エホバが大地に雨を降らせる日まで、麦粉の大きなつぼも油の小さなつぼも空にはならない』」。15 彼女は帰ってエリヤに言われた通りにした。彼女もエリヤも彼女の家人も皆、何日も食べた。16 麦粉の大きなつぼも油の小さなつぼも空にはならなかった。エホバがエリヤを通して語った言葉の通りになった）すると、2人が**昼に何を食べようかと考えもしないうちに、仲間が救援物資を届けに来てくれました**。そこには**2週間分以上の食糧が入っていました**。姉妹はこう言います。「**私が娘に語った言葉をエホバがこんなに注意深く聞いてくれているとは思いもしませんでした**」。エホバに頼るなら、思いも寄らない問題にぶつかるとしても、それは**エホバとの絆を強めるチャンス**になるのです。（ペテ一 5:6, 7 神の力強い手の下で謙遜になってください。そうすれば、神はやがて皆さんを重んじて(d\*高く上げて)くださいます。7 そして、心配事(\*不安/悩み)を全て神に委ねましょう。神は優しく気遣ってくださるからです）

19. アレクセイ・エルショフ兄弟はどんな大変な経験をしましたか。

19 最近では、大勢のエホバの証人が迫害を経験しています。ロシアのアレクセイ・エルショフ兄弟もその1人です。1994年に兄弟がバプテスマを受けた頃、ロシアのエホバの証人はある程度自由

に活動することができていました。でも、後に状況は大きく変わります。2020年、エルショフ兄弟は家宅捜索を受け、たくさんの物を押収されました。そして、数ヶ月後に起訴されます。しかも、起訴内容は聖書に関心があるふりをして1年以上兄弟と接触していた人が撮った動画に基づくものでした。兄弟は本当にショックを受けたことでしょう。

20. エルショフ兄弟はどのようにしてエホバとの絆を強めていますか。

20 こうした出来事はエルショフ兄弟にとってただつらいだけの経験だったでしょうか。そうではありません。エホバとの絆が強まりました。兄弟はこう言っています。「以前よりも妻と一緒に祈ることが増えました。エホバの助けなしでこの状況を乗り越えることはできない、ということを実感しています」。さらにこう言っています。「落胆の気持ちを克服するのに、個人研究が助けになっています。神に忠実に仕えた人たちの手本について、じっくり考えるようになっています。聖書に記録されている多くの記述を読むと、平静さを保ち、エホバを信頼することの大切さがよく分かります」。

21. この記事でどんなことを学びましたか。

21 この記事でどんなことを学べたでしょうか。今の世の中では思いも寄らない問題にぶつかることがあります、エホバに頼るならエホバは必ず支えてくださるということです。主題聖句にある通りです。「正しい人は多くの苦難に遭う。しかし、エホバがその全てから助け出してください」。(詩 34:19 正しい人は多くの苦難(\*災難)に遭う。しかし、エホバがその全てから助け出してください)では、経験している問題ではなく、エホバの支えに目を向けるようにしましょう。そうすれば、パウロと同じようにこう言うことができます。「力を与えてくださる方のおかげで、私は強くなり、どんなことも乗り越えられます」。(フィリ 4:13 力を与えてくださる方のおかげで、私は強くなり、どんなことも乗り越えられます(\*行えます)。)

どのように答えますか

1. 今の世の中での生活について、エホバはどんな現実的な見方を教えていますか

・S03 詩編 34 編 19 節から、(1) 正しい人も問題にぶつかること、(2) エホバは私たちを助け出してくださいることが分かる。エホバは、ご自分に仕える人は喜びを味わえると約束しているが、何の問題も経験しないで済むと言っているわけではない。将来に目を向けるようにと勧め、私たちに永遠にわたって素晴らしい生活を送ってほしいと思っている。その時まで私たちが一日一日頑張ることができるように、力を与えてくださる。

2. エホバは聖書時代の忠実な人たちをどのように支えましたか

・S07 ヤコブは大変なことがあっても、エホバとエホバの約束を信じ続けた。エホバはヤコブのことを喜び、たくさんの祝福を与えた。例えば、ヤコブはラバヌからひどい扱いを受けても、エホバからたくさんの物を与えられて豊かになり、ずっと前に死んだと思っていたヨセフとも再会することができた。

- ・S10 エホバは、神殿を建てるのはダビデではないということを伝えた後、すぐにダビデと契約を結んだ。それは、ダビデの子孫の1人が王として永遠に治めることになるという約束だった。将来ダビデは、王イエスが自分の子孫であることを知って、たとえ自分の願っている奉仕が全部行えなかつたとしても、エホバが思ってもみなかつたような祝福を与えてくださることを経験することになる。
- ・S11 1世紀のクリスチャンも、神の王国が来ることを心から願っていても、それがいつ実現するのか分からぬという難しい問題があつたが、伝道に打ち込み、エホバが祝福してくださった
- ・S13 飢饉を経験した1世紀のクリスチャンで、救援物資を受け取つた人々は、エホバが支えてくれていることをじかに感じ、助けに来てくれた人たちとの絆も深まつた。寄付やその他の方法で救援活動をサポートした人たちも、与える喜びを味わつた。
- ・S14 バルナバとパウロがルステラで伝道して厳しい迫害にあつたが、ほかの場所で伝道を続けたので、かなり大勢の人々が弟子となれた。他のクリスチャンも2人の言葉や行動に力づけられ、エホバはその宣教の務めを祝福してくださつた。

### 3. エホバは現代、ご自分に仕える人たちをどのように助けていますか

- ・S15 A·H·マクミラン兄弟も、1914年にすぐにでも天に行けると大きな期待を抱いていたがそうならなかつた。それでも、伝道を熱心に行い、軍隊に加わらなかつたために投獄された兄弟たちを励ました。そして、高齢になつても集会に出席し続けて、エホバの約束を待つ間、時間を有効に使つた。1966年に亡くなる直前にも「自分の信仰は今までと同じく強い」と書き、素晴らしい手本を残した。
- ・S16-17 ガーナでの宣教者奉仕を夫婦で楽しんでいたハーバート・ジェニングズ兄弟は重度の気分障害と診断され、ガーナと数多くの親しい友を後にし、割り当てを断念してカナダに帰つた。思いも寄らない問題にぶつかつても頑張つてゐる姿は、仲間に励みを与え信仰や忍耐の面で手本になることができた。
- ・S18 ナイジェリアに住むあるやもめの姉妹は、ザレパテのやもめの手本に倣つたときに、仲間が救援物資を届けに来てくれて、エホバに頼るなら、思いも寄らない問題にぶつかるととも、エホバとの絆を強めるチャンスになる経験をした。
- ・S19-20 アレクセイ・エルショフ兄弟は、2020年に家宅捜索でたくさんの物を押収され、数ヶ月後に起訴されたが、起訴内容は聖書に関心があるふりをして1年以上兄弟と接触していた人が撮つた動画に基づくものだつた。つらい経験だつたが、妻と一緒に祈ることが増え、個人研究から平静さを保ち、エホバを信頼することの大切さを知り、エホバとの絆を強める機会となつた。

### 38番の歌 神はあなたを強い人にしてくださる

▲ 私たちは今の世の中で思いも寄らない問題にぶつかることがあります。でも、エホバが支えてくださると確信しています。エホバはご自分に仕える人たちをこれまでどのように支えてきたでしょうか。今、私たちをどのように支えてくださっていますか。聖書中の例や現代の例について考えると、エホバに頼るなら必ず支えてくださるという確信を強めることができます。

▲ 「ものの塔」2000年12月1日号24-28ページを参照。